

【記者からの質問】

<大雨災害について>

西日本新聞／昨年台風時に、3密対策で避難所に入れなかった問題があった。この対策についての考えを。

知事／定員に達した避難所は、急きょ近隣の施設を開設したり、別の避難所へ誘導したりした。コロナ対策として、多くの避難所の開設をお願いしているが、優先順位を間違えてはいけない。危険が迫った場合は、コロナ対策より、まずは避難所に避難することが大事。

<新型コロナウイルス感染症について>

西日本新聞／福岡県が緊急事態宣言の延長を要請した。佐賀県の非常警戒措置に与える影響は？

知事／福岡県は徐々に改善しているが、病床使用率を含め厳しい状況にある。緊急事態宣言の延長は、本県にとってありがたい。新たな下り対策を検討していく。

<新幹線西九州（長崎）ルート関連>

西日本新聞／新幹線問題は、国交省との協議が半年以上行われていない。この現状をどう考えるか。

知事／我々はいつでもいいと話している。コロナの関係で間があいているが、近々ウェブで協議することになりそうだ。幅広い協議が進むことを期待している。

西日本新聞／与党 PT で、財政負担の軽減策や並行在来線維持の検討を進める話し合いが予定されている。この受け止めを。

知事／深くは聞いていない。与党 PT は、アセスルートのフルを前提にしている印象を受ける。本県は、フリーゲージやスーパー特急には合意しているが、それ以外は何も決めていない。この旨の話をしたが、フル規格が適当など、地元を無視した結論が出ている。

与党 PT には、本県の意見を代弁する国会議員もいないし、我々は遺憾だとずっと言い続けてきた。

国交省の赤羽大臣から、与党 PT に縛られない形で佐賀県と幅広い協議をしたいと話があった。我々はフルを含め、幅広くやりたいし、アセスルートだけでなく、海側や山側もあるので、数字を出してもらって議論をしたい。与党 PT からアセスルート前提で、佐賀県の主張を潰されて違和感がある。本県は大きな視点で考えたいから、幅広い協議をしていると理解してほしい。

西日本新聞／今後、協議を進める中で、どのような内容になったら結論が出せるのか。

知事／佐賀県にとっていい選択肢が出てきたら合意する。これまでも、スーパー特急方式や国の提案のフリーゲージには合意してきた。県民に説明できるようなものなら合意する。

そもそも新幹線は、地元の要望に応じ、地元の理解のもとで進めるべきプロジェクト。私の就任前から、武雄―新鳥栖間は在来線を通る方法で合意をしている。つまり、それ以外は全く合意していないのにも関わらず、期限を決められるのは筋が違う。

フル規格も含め、幅広い協議をしたいと言っているのだから、向き合ってほしい。

<聖火リレーについて>

毎日新聞／聖火リレーでは、複数の新型コロナウイルス陽性者が出た。この件を含め、聖火リレーの評価を。

知事／組織委員会 460 人が県外から来た。ガイドラインがあり、しっかり管理もするということが、聖火リレーを行っても大丈夫だと判断した。それが守られなかったのは残念だ。

組織委員会は、今回のことを教訓に、本大会に向け生かしてほしい。

<東京オリンピック・パラリンピック関連 その1>

毎日新聞／五輪の事前キャンプの準備が始まる時期になった。五輪の開催は、問題ないとの考えか。

知事／それは、主催者の IOC や開催国の運営者が判断すべきこと。そして、しっかり情報開示していくこと。しかるべきタイミングに、判断すべき人が判断することが必要だ。

<古賀稔彦さん関連>

読売新聞／古賀稔彦さんの銅像は、実物大で柔道着姿なのか。

県職員／それは、これから。

知事／等身大のイメージ。

剣道の大塚さんの銅像がある。柔道も古賀さんの姿を若い人に伝えていきたい。

読売新聞／佐賀県出身者で活躍している人がほかにもいるが、なぜ古賀さんの銅像なのか。

知事／県民栄誉賞第 1 号であること。佐賀県のスポーツに対する思いが強い人であったこと。

「世界一になろうと思うなら、世界一の考え方をしなければいけない」と熱く語る姿が、県民に影響を与えたこと。県内のスポーツ関係者の総意で、古賀稔彦の名前を佐賀県の大地に残したいとの機運が高まった。

<ワクチン接種について その1>

佐賀新聞／自治体の首長へのワクチン接種について、知事の考えを聞きたい。

知事／首長がワクチンを打つのは問題ないと思う。沈没する船の例が取り上げられるが、沈没する船なら、船長として命をなげうって最後まで残る。この場合、船は運航している。船長は方向を決める大事な役目を担っている。その役目を果たすことを、船員は願っているはず。

ただ、隠れて打つのは話が違う。トップは、高らかに宣言して打つべきだ。

佐賀新聞／知事の接種は、いつごろを予定しているのか。

知事／自然体で。県民のみなさんも粛々と順序を守って打ってもらいたい。その中で、私もいずれ打つことになる。

<佐賀空港の自衛隊使用要請関連>

共同通信／地権者説明会が開催できない状態に陥っている。県は、調整役を頼まれているのか。

知事／コロナ感染対策の課題もある。また、防衛省の説明の仕方と4漁協との信頼関係構築への課題もある。

地権者説明会が開かれることが、大事なことだと考えているので、県も説明会ができるよう鋭意努力している。説明会ができるよう期待している。

<東京オリンピック・パラリンピック関連 その2>

佐賀新聞／自治体によっては、事前キャンプの受け入れ中止を申し入れたり、逆に海外から断りの申し出があったりしている。県内の感染状況によって受入断念もあるのか。

知事／受入予定の5か国から断念する申し入れはない。入国後は、国のガイドラインに基づき作成したマニュアルに沿って、関係各所が厳格なコロナ対策を行う。現在、受け入れを準備中。

<ワクチン接種について その2>

共同通信／ワクチンの大規模接種に対する考えを聞かせてほしい。

知事／今すぐ大規模接種が必要な状況ではない。しかし、モデルナを受け入れる体制が必要なのでと議論していた。県としての接種のあり方を市町と相談している。それは、65歳以下の接種にも生きてくるので、検討を開始した。